

令和7年度 公益財団法人静岡県国際交流協会事業報告

令和7年度は、円安の定着により、光熱費や食費、衣料品など日々の暮らしにも影響を及ぼすなど、慢性的な生活費の上昇が懸念されている。インバウンド需要は活発化し、外国人旅行者数は過去最高だった2024年を上回り、旅のスタイルは周遊型から生活文化体験型へと変化している。日本の外国人労働者数は令和7年10月末270万人と13年連続で過去最多となり、円安が続くなかでも日本に来る労働者数は伸びており、日本での賃金や治安、生活環境等が背景となっている。

令和8年度は新たに、関係閣僚会議において「秩序」に力点が置かれた「外国人の受入れ・秩序ある共生のための総合的対応策」がとりまとめられた。入国前の日本語教育、社会規範の理解促進、違法行為に対する厳正な対処、制度適正化等の取組など、安全安心な社会を実現する必要性が強調された。在留手続きに関する手数料の大幅な値上げや国籍取得居住年数引上げ、専門職在留資格「技術・人文知識・国際業務」や「育成就労」の取得要件に、日本語能力や日本語講習が義務化されるなど、審査を厳格化する方向性が示されている。2027年4月に施行予定の「育成就労」制度に向け、国や企業は「人材確保」と「人権保護」を軸に準備を進めている。

静岡県の外国人数は令和7年6月末現在128,311人となり、過去最多を更新している。静岡県の主な出身国（地域）別に見ると、アジア圏の国・地域で大幅な増加となっている。静岡県では、第4期静岡県多文化共生推進基本計画が作成され、多文化共生県実現に向けた機運醸成を目指し、令和7年度に加盟したインターカルチュラルの理念の普及、外国人県民と日本人県民の相互理解と交流促進、外国人県民の活躍支援、安心して快適な暮らしの充実を進めている。

令和7年度、当協会では、令和6年度に中・長期計画を策定した重点事業として、相談事業の強化、自立した若者の輩出、地域日本語教育の充実を掲げている。一元的相談窓口である多文化共生総合相談センター事業及び静岡県地域日本語教育を軸に事業を進めるとともに、外国にルーツのある若者の自立支援事業を強化する。

また、公益法人制度が令和7年度から大幅に変わったことから、改正への適正な対応をしながら情報公開と社会への貢献度を明確にすることで、協会の社会的責任や存在意義を伝えていく。

改正は、次の①から③の視点から、自律的な経営判断が尊重されるとともに、透明性や信頼性が高い仕組みへと見直されている。①財務規律の柔軟化・明確化として、収支相償から中期的な収支均衡へ「公益充実資金」の創設など公益法人のより自由な資金活用が可能になる。②行政手続の簡素化・合理化として、事業変更の多くが「変更認定」から「変更届出」となり、審査における確認事項や申請書に記載すべき内容や必要な提出書類が明確になる。③自立的ガバナンスの充実、透明性向上として、外部理事の導入、ガバナンスの取組の事業報告記載等公益法人が自ら適切なガバナンスを確保するための仕組みが強化されるとともに、行政庁による定期提出書類の公表、開示情報の拡充など、公益法人の情報開示が強化され、透明性の向上が求められる。

資産運用では、令和7年度に基本財産の投資有価証券の入れ替えを行い、受取利息の改善を図った。令和8年3月末の時価指数は、93.81(前年度101.48)となった。また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益財団法人を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業 (19,843,421 円 内共通経費 3,463,454 円)

【県民・団体への働きかけ、連携強化】(12,013,722 円)

(1) 情報収集提供事業	・ 情報誌、ホームページ
(2) 国際理解教育事業	・ 「アース（明日）カレッジ」の開催
(3) 外国語ボランティアバンク設置及び 災害時外国語ボランティア育成事業	・ 外国語ボランティアバンクの登録、紹介 ・ 災害時外国語ボランティアの登録、育成
(4) 日本国際連合協会関連事業	・ 国連外国語講座（英語・韓国語）

【海外との関係強化・維持】(4,366,245 円)

(5) 留学生支援事業	・ 「ふじのくに国際交流親善大使」設置 ・ 留学生就職支援事業
(6) 海外国際交流団体連携事業	・ 海外関係団体への情報提供
(7) 海外移住者援護事業	・ 「オレンジネット」への情報掲載、海外県人会への助成・表彰

2 多文化共生推進事業 (40,511,436 円 内共通経費 4,202,962 円)

【外国人住民支援】(35,381,058 円)

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置事業	・ 静岡県多文化共生総合相談センター「かめりあ」
(2) 外国人住民相談窓口高度化事業	・ 静岡県医療通訳体制整備事業 ・ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業 ・ 外国につながる高校生を対象とした日本語教育及びキャリア支援事業 ・ ブラジル人学校生徒キャリア形成支援事業
(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業	・ 「対話交流型地域日本語教室指導者養成講座」、 「静岡県日本語ボランティアセミナー」等の開催
(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業	・ 日本語指導者との課題共有

【地域連携・協働事業】(927,416 円)

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築	・ 社会福祉協議会等、関係団体の情報共有
(6) 外国人児童支援事業	・ ブラジル人学校日本語教育事業
(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業	・ 企業への実習生受入相談対応

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業

ア 情報誌(SIR Joy Press) 3,800部を年6回発行した。

イ ホームページの改定を行い、翻訳機能を導入した。11言語（日本語・英語・インドネシア語・ポルトガル語・スペイン語・フィリピン語・中国語・ベトナム語・韓国語・ネパール語・シンハラ語）での情報提供が可能となった。

・平均ページビュー数 14,472件/月

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ2025」を開催した。

アース(明日)カレッジ2025

開催時期	令和7年9月28日(日)
内 容	「誰もがセンセイ、誰もがセイト」をコンセプトに、19講座を開催し、展示コーナーを設置した。ベトナムやミャンマー、インドネシア等の留学生やアルゼンチンやフィリピンルーツ等の外国人が、それぞれの国の食文化や民族衣装等を紹介し、県民との交流を図った。
会 場	静岡市葵生涯学習センター アイセル21（静岡市）
講 師	静岡県国際交流協会親善大使、しずおか自主夜間教室、静岡県中小企業家同友会、他
参 加 者	381名（延人数）

(3) 外国語ボランティアバンク設置及び災害時外国語ボランティア育成事業（県委託事業）

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、語学が堪能な県民のボランティア登録を行った。災害時の外国人支援体制を整備するため、災害時外国語ボランティアの募集・登録を行い、研修会を実施した。

ア 外国語ボランティアバンク設置

・登録者数 1,529名 36言語（内災害時外国語ボランティア 474名 22言語）

イ 災害時外国語ボランティア研修会の開催

静岡県災害時多言語支援センターや、地域防災、災害時の通訳について研修を行った。
「みんなで一緒につくる地域防災～今から私たちにできること～」

開催時期	令和7年11月24日（祝・月）
内 容	静岡県災害時多言語支援センター等についての説明、地域防災についての講義、グループワークを行った。
会 場	静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡市）
講 師	鈴木 まり子氏 浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク はままつ nanet 事務局長
参 加 者	18名

災害時外国語ボランティア 通訳・翻訳ロールプレイング

開催時期	ポルトガル語・スペイン語 令和8年3月4日（水） 英語 令和8年3月6日（金） 中国語 令和8年3月7日（土）
内 容	災害時多言語支援センター等についての説明、通訳・翻訳における注意点についての講義、外国人、行政職員、通訳に分かれてロールプレイングを言語別に実施した。
会 場	Zoom（オンライン）
講 師	岩田久美氏（（一社）多文化社会専門職機構認定相談通訳）
参 加 者	ポルトガル語・スペイン語6名、英語14名、中国語5名

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、語学力の向上を図る機会を提供するため、全10回の「国連外国語講座（英語・韓国語）」を年3期開催した。

国連外国語講座（英語・韓国語）

	静岡会場		沼津会場	
開催時期	(第1期)令和7年5～8月 (第2期) 令和7年10～12月 (第3期)令和8年1～3月			
内 容	英会話（初級、初中級、中級、上級） 韓国語（入門、初級）		英会話（初級、初中級、中級）	
会 場	静岡県教育会館 静岡県観光・国際交流センター		沼津労政会館	
参 加 者	第1期	77名	第1期	35名
	第2期	74名	第2期	33名
	第3期	61名	第3期	32名
	計	212名	計	100名
	合計	312名		

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに国際交流親善大使設置事業

県内大学に在籍する留学生や外国にルーツをもつ青年を「ふじのくに国際交流親善大使」に委嘱し、地域の国際交流事業に紹介をした。

委嘱者	Athena Lateesya Gary（マレーシア、県立大学） Jelita Oktapida（インドネシア、静岡英和学院大学） Rumante Dannari（インドネシア、静岡英和学院大学） Thu Thu Lyan（ミャンマー、静岡産業大学） Duong Thu Trang（ベトナム、静岡産業大学） Sadida Nur Fatimah（インドネシア、静岡理科大学） 相川 ヌビア（ブラジルルーツ、静岡文化芸術大学）
-----	---

	Carara Kelvin Caique（ブラジルルーツ、常葉大学） 田中 琢間 カルビン（ブラジルルーツ、袋井市役所） Paulo Ricardo（ブラジルルーツ、ヘアメイクアップアーティスト） 福島 隆棋（中国ルーツ、常葉大学） 南 咲空（ペルールーツ、外資テクノロジー企業） 天野 シェイロ（フィリピンルーツ、常葉大学） 大石 亜弥（フィリピンルーツ、県立大学） 計 14 名
活動実績	菊川市立総合病院主催「インドネシア文化講座」講師、菊川市地域支援課主催「異文化理解講座」講師、富岳館高校、東海大翔洋高校、静岡雙葉中学校にて文化紹介講師、函南町都市交流協会主催交流会への参加、オンライン講座でルーツの若者の歩んできた道のりや経験について発表ほか 計 23 件 延べ 49 人参加

イ 留学生就職支援事業(公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業)

県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、静岡県の産業や企業を学ぶ基礎講座や留学生の OBOG 交流会、インターンシップ、企業訪問を実施した。

基礎講座

開催時期	令和 7 年 6 月～令和 7 年 10 月
開催回数	静岡市 5 回 浜松市 5 回
会 場	静岡市 静岡 B-nest 浜松市 静岡大学浜松キャンパス
講 師	静岡鉄道(株)、協立電機(株)
＜県内企業＞	中山 勝氏（静岡産業大学特任教授 総合研究所所長）
＜キャリアカウンセラー他＞	野口直子氏（キャリアカウンセラー） 武村葉子氏（静岡信用金庫） しずおかジョブステーション
＜行政書士＞	黒田忍氏 山内大輔氏
＜留学生 OBOG＞	フィルダウス プリヨ ハルトモ氏（インドネシア出身 (株)ヤタロー） エー ニン プィン アウン氏（ミャンマー出身 スズキ(株)） ブイヤン ラキブ氏（バングラデシュ出身 矢崎総業(株)） グエン フェン アン氏（ベトナム出身 スズキ(株)） 孫 江明氏（中国出身 (株)大鉄アドバンス） ドー ハー フォン氏（ベトナム出身 元県内企業勤務） シン カシシュ氏（インド出身 (株)中村機工） ピアンナパ コンピッチャヤノン氏（タイ出身 静岡ガス(株)）
参 加 者	留学生 155 名

インターンシップ

開催時期	令和 7 年 9 月 2 日（火）～9 月 8 日（月）
受入企業	(株)磯駒海苔（静岡市）、(株)中村機工（静岡市）、(株)タミヤ（静岡市）
参 加 者	留学生 4 名

企業訪問

開催時期	令和8年2月5日（木）
訪問企業	（株）駿河生産プラットフォーム（静岡市）、フジ物産（株）（静岡市）
参加者	留学生23名

（6）海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

（7）海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

- ・在外県人会への助成

ブラジル県人会 700 千円、アルゼンチン県人会 200 千円、ペルー県人会 200 千円、サンパウロ日伯援護協会 80 千円、アマゾン日伯援護協会 80 千円

- ・在外県人高齢者表彰

ブラジル 2名 アルゼンチン 2名 アメリカ 1名

2 多文化共生推進事業

【 外国人住民支援 】

（1）外国人住民支援アドバイザー設置事業（県委託事業）

外国人住民が抱える生活課題に対応するため、「静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ」において外国人相談員及び日本人相談員を配置し、生活相談に対応した。

専門家による相談会を開催し、市町で実施される相談会等に出向き、各地域の相談対応を支援した。

静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ

対応言語 言語別内訳	ベトナム語	767 件	スペイン語	165 件
	日本語	512 件	中国語	109 件
	インドネシア語	392 件	英語	97 件
	フィリピン語	277 件	ネパール語	1 件
	ポルトガル語	221 件	その他の言語	1 件
	合計		2,542 件	
相談内容	入管手続き	603 件	福祉	40 件
	雇用・労働	415 件	交通・運転免許	35 件
	医療	220 件	住宅	30 件
	社会保険・年金	209 件	出産・子育て	27 件
	身分関係	116 件	手続一般	16 件
	日本語学習	74 件	通訳・翻訳	12 件
	教育	58 件	防災・災害	3 件
	税金	45 件	その他	639 件
		合計	2,542 件	

専門家による相談会

入国管理局相談会 73 件（全 10 回）、行政書士相談会 13 件（全 6 回）

法律相談会 55 件（全 21 回）、社労士相談会 39 件（全 20 回）

こころの相談会 43 件（全 15 回）

(2) 外国人住民相談窓口高度化事業

外国人住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、体制整備に向けた検討・研修会や調査を行った。

医療通訳者紹介や就労支援マッチング事業及び外国人の若者を対象としたキャリア教育や日本語教育に取り組んだ。

ア 静岡県医療通訳体制整備事業（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

医療従事者を対象としたセミナー

開催時期	令和 7 年 11 月 5 日（水）、26 日（水）	
内 容	東部健康福祉センターと共催で、医療通訳の「介入なし」と「介入あり」を体験するワークショップや、外国人の困りごとを共有した。具体的な支援策について理解を深め、体制づくりを協議した。	
会 場	Zoom（オンライン）	
	第 1 回	第 2 回
参 加 者	医師・関係者 38 名	医師・関係者 43 名

医療通訳講座

開催時期	令和 7 年 8 月 2 日（土）、8 月 30 日（土）	
内 容	外国人診療の現状や通訳業務に必要な関連知識、対応力、通訳技術を学び、婦人科と整形外科の通訳演習を行った。	
	第 1 回	第 2 回
会 場	Zoom（オンライン）	静岡県男女共同参画センター あざれあ（静岡市）
講 師	港町診療所 所長 総合内科専門医 沢田貴志 氏 国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター特任研究員/医師 エフエンディ カトリーヌ 氏	静岡県立大学 看護学部看護学科 濱井妙子 氏 群馬医療通訳者有志の会 代表 原 美雪 氏 インドネシア語 原 美雪 氏 ネパール語 グルン ニラズ 氏 シンハラ語マンジュ カツリラタナ氏
参 加 者	17 名 （インドネシア語 12 名、シンハラ語 4 名、ネパール語 1 名）	19 名 （インドネシア語 14 名、シンハラ語 3 名、ネパール語 2 名）

医療通訳者紹介

派遣件数	5 件
言 語 数	3 言語（シンハラ語、ベトナム語、ポルトガル語）
派遣病院	2 病院（静岡県立こども病院（静岡市）、静岡県立こころの医療センター（静岡市））

イ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（県委託事業）

定住外国人の正社員就業を支援するため、外国人求職者への情報提供や就職相談に対応した。

アドバイザー派遣

就職を希望する定住外国人及び雇用に関心のある企業双方に寄り添い、アドバイスをを行った。

- ・企業登録者数 14 社（令和 8 年 3 月末時点）
- ・外国人登録者数 14 人

ウ 外国につながる高校生を対象とした日本語教育及びキャリア支援事業

日本語クラスの開催（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

開催時期	令和 7 年 4 月～令和 8 年 2 月	
内 容	日本語能力が不十分で学校生活や授業理解に課題を抱えている生徒を対象とし、進路決定や漢字強化を目的とした日本語指導を行った。	
実 施 校	私立誠恵高校（沼津市）	県立浜松北高校定時制課程（浜松市）
回 数	全 19 回	全 31 回
参加人数	延べ 183 名	延べ 165 名
講 師	グランジャー・グローバル・アカデミー	岡田理江（にほんご NPO）

エ ブラジル人学校生徒キャリア形成支援事業

（県委託事業、（一財）自治体国際化協会助成金事業）

ブラジル人学校に在籍する生徒を対象とし、キャリア教育を実施した。生徒一人ひとりが卒業後の生活や自分の将来について考え、自分の進路について理解を深めることをねらいとし、職業講話や職業体験、個別相談を実施した。

学校名 ※各種学校認可済	所在市
EAS（エスコラ・アレグリア・デ・サベール）※	浜松市
エスコラ・アウカンセ	浜松市
オビジェチーボ・デ・イワタ・チア・ホーザ	磐田市
セントロ・エドゥカシオナウ・ソヒゾ・デ・クリアンサ	菊川市
セントロ・デ・エンシーノ・ニッポ・ブラジレイロ	菊川市

企業講話

開催時期	令和 7 年 7 月～9 月（全 9 回）
内 容	中学生、高校生を対象とし、外国人を雇用している企業担当者やブラジルルーツで現在社会人や大学生として活躍している先輩を講師に迎え、仕事内容や必要な日本語力等についてお話いただいた。
講 師	相川ヌビア氏（静岡文化芸術大学生） 岡部剛氏（浜松工科自動車大学校校長）

	コーラワネッサ氏（有）スパイラル美容師） パウロリカルド氏（ビューティーアーティスト） 村上ナオキ氏（県教育委員会日本語指導コーディネーター他） カネダロペス氏（遠州トラック） 吉田幸司氏、阿部佳織氏（浜松日産自動車人事課）
参 加 者	209 名

職業体験

開催時期	職業体験 令和 7 年 10 月～11 月
内 容	高校生を対象とし、体験先企業について調べ、マナーや挨拶練習を行った後、企業を訪問し、軽作業等を体験させていただいた。後日、体験から学んだことの振り返りと進路について考える講座を実施した。
職業体験先企業	一空園（高齢者施設） 浜松工科自動車大学校（自動車整備士学校） スズキ自販浜松（自動車販売、整備）） ソフトプレン浜松（プラスチック加工） むくもりのおうち保育 砂丘町園（小規模保育園） 浜松日産自動車（車販売、修理） Pure Beauty（エステ、美容） 船越造園（造園業） ユニクロ（アパレル） RUSTIKA（ペルー料理店） ケアハウス ゆやの里（介護施設） 聖隷こども園こうのとり豊田（保育園） 浜松日産自動車磐田豊田店（自動車販売、整備） 第一商事(株)（ガソリンスタンド） 飲食店ぶんぶく（飲食店） (株)松下工業（金属加工） (株)近藤商事（駄菓子屋） エッジガレージ（自動車販売、整備） 計 18 社
参 加 者	EAS 高校2年生 29 名 オビジェチーボ・デ・イワタ・チア・ホーザ 高校 1、2 年生 22 名

個別相談

開催時期	令和 7 年 6 月～2 月
内 容	将来のことや現在の生活に不安や悩みを抱えている生徒を対象とし、個別相談を実施した。ブラジル人学校の事情が分かり日本社会で活躍する若者 2 名がカウンセラーとなり、SNS やオンライン面談を通して対応した。
アドバイザー	村上ナオキ氏、相川ヌビア氏
件 数	45 件

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業（県委託事業）

日本語能力が十分でない外国人が、生活等に必要な日本語能力を身に付け地域社会に参画でき、地域住民との交流が促進されるよう、地域日本語教育の体制を構築することを目的とし、市町職員やコーディネーターを対象とした研修をはじめ、指導者養成講座やネットワーク会議、ボランティアセミナー等を開催した。また、日本語教育の分野での活動を希望する人材と人材を求める機関が円滑かつ効果的につながることができるよう人材バンクを整備した。

市町地域日本語教育担当職員・コーディネーター研修

開催時期	令和7年6月5日（木）
会 場	オンライン
参加者数	44名（市町職員33名、CD等11名）
内 容	文科省職員による日本語教育に関する国の動向や関連施策の説明や県の取組紹介、県コーディネーターによる講義を通し、地域日本語教育に関する基礎知識を高めた。また、教室実施市町による好事例の発表や参加者間での意見交換の場を設け、市町間の関係性の構築を行った。

対話交流型地域日本語教室指導者養成講座（1期、2期）

開催時期	【1期】全5回（①令和7年6/8、②6/15、③7/13、④7/27、⑤11/16） 【2期】全4回（①令和7年10/25、②11/29、③12/13、④令和8年1/10）
会 場	【1期】①⑤オンライン ②JR 静岡駅ビルパルシェ ③④静岡県男女共同参画センターあざれあ 【2期】①②④オンライン ③静岡県男女共同参画センターあざれあ
参加者数	【1期】38名（延べ128名） 【2期】46名（延べ149名）
内 容	地域における多文化共生推進事業の一環として開催する対話交流型地域日本語教室の指導者に必要な知識やスキルを身に付けるための養成講座を実施した。年に2期開講し、2期目は資格や経験の有無不問のオンライン開催とし、より幅広く対話交流型教室の理解者を増やした。

対話交流型地域日本語教室実施市町ネットワーク会議（全2回）

開催時期	① 令和7年10月21日（火）② 令和8年1月15日（木）
開催形式	② オンライン
参加者数	① 22名（市町14、CD等8） ② 36名（市町26、CD8、その他2）
内 容	市町による地域日本語教室の取組の発表や課題の共有、意見交換等を行い、市町の枠を超えた横の繋がり構築、事業の維持拡充、質の向上を行った。

静岡県地域日本語教育推進セミナー・静岡県日本語ボランティアセミナー2026

開催時期	令和8年2月11日（水・祝）
会 場	静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡市）
参加者数	127 名
内 容	基調講演と3つの分科会の2部構成で実施し、地域日本語教育に携わる人材の確保と知識やスキルの向上を図った。 基調講演では、外国ルーツの若者に対し、地域としてできることについて講師の経験を交えながらご講話いただいた。また分科会 A では、静岡県の推進する対話交流型の日本語教室について、好事例の発表やワークショップを通して理解を深めた。分科会 B では、地域で子ども支援を行っている団体の活動発表を聞き、地域にあったら良いと思う活動についてグループでアイデアを出し合った。分科会 C では、著作権について学び、教室活動の中で著作物を使用する際のポイントについて考えた。

静岡県日本語教育人材情報バンク

内 容	静岡県管理運営「静岡県地域日本語教育人材情報バンク」と当協会管理運営「日本語サポーター」を「静岡県日本語教育人材情報バンク」に一本化し、情報のプラットフォームを整備した。 【リニューアル前の登録者】 静岡県地域日本語教育人材情報バンク登録者数 167 名 日本語サポーター 400 名 【リニューアル後の登録者】（令和8年3月末現在）60 名 ※随時登録受付
-----	---

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒の日本語教育について、日本語指導者等と課題を共有した。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築

県内市町の国際交流協会や相談窓口、社会福祉協議会等、関係機関と情報共有を図り、生活困窮者に対して生活資金の貸付制度の情報提供や申請にかかる支援を行った。

静岡県多文化共生ネットワーク研修会「実践的外国人相談対応セミナー」

開催時期	2025 年 10 月 8 日（水）
会 場	オンライン
参 加 者	市町国際交流協会、外国人支援団体関係者 23 名
内 容	「相談にとって7つの大切なこと」 講師 村松 紀子 氏 （スペイン語相談員・社会福祉士） 講話を聞き、グループワークで相談対応の知見を深めた。 ① 外国人相談窓口×市生活支援窓口×弁護士 ② 外国人相談窓口×入国管理局×弁護士 ③ 外国人相談窓口×年金事務所×社会保険労務士

(6) 外国人児童支援事業

外国人学校に通う生徒の日本語習得の促進を目的とし、日本語教師を派遣し、日本語授業の増設を行った。

ブラジル人学校日本語教育事業（（一財）自治体国際化協会助成金事業）

開催時期	令和7年5月～令和8年2月	
派遣校	ソヒゾ・デ・クリアンサ（菊川市）	オブジェチーボ・ジ・イワタ（磐田市）
回数	全68回	全25回
参加者	延べ1002名	延べ100名

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

技能実習生の日本語教育に関する問い合わせに対して、県の取り組みや日本語教室、支援者の紹介等を行った。

【公益目的事業実施についての報告（認定法改正による記載事項）】

当協会の公益目的事業は、学術、技芸、慈善その他の公益に関する認定法別表各号に掲げる種類の事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与する（認定法第2条第4号）ものであり、チェックポイントに適合している。

事業種類 15

国際相互理解の促進及び開発途上にある海外の地域に対する経済協力を目的とする事業

事業区分

不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものとして、以下の区分にあたる事業を行っている。

- (3) 講座、セミナー、育成
- (4) 体験活動等
- (5) 相談、助言
- (13) 助成（応募型）
- (16) 表彰、コンクール
- (20) 上記の事業区分に該当したに事業